千葉駅関連ユニオンニュース

2023年
9月発行
第14号
千葉駅関連ユニオン

千葉駅関連ユニオンは、テナント・物流・警備・設備・清掃など千葉駅・駅ビル・駅周辺で働く人は誰でも加入できるユニオンです。043-225-2207
chibaekiunion@gmail.com

西武池袋店でストライキ

「労働者の首切るな」労働組合に大きな共感

多くのみなさんがご覧になったと思いますが、「そごう・西武労働組合」が８月３１日、西武池袋本店でストライキを行いました。

親会社セブン＆アイが労働組合・労働者の意向をまったく無視してそごう・西武を米投資ファンドに売却し、西武池袋本店、西武渋谷店、そごう千葉店などにヨドバシカメラを大規模出店させようとしています。西武・そごうで働く労働者の首切りは許せません。

スト当日の池袋駅前デモは、「応援しています」「がんばってください」という大きな支持と共感に包まれました。実に６１年ぶりの百貨店ストは、労働組合と労働者が持っている大きな力を示しました。労働者が真剣な要求と怒りで行動を起こせば、会社・経営者に大きなダメージを与えることができます。私たちも地元から千葉そごうの労働者の首切りに反対しましょう。

千葉の最低賃金、プラス42円の1026円に

労働組合に入り最低42円以上の賃上げ求めよう

７月末に厚生労働省の諮問機関が最低賃金の目安を「全国平均４１円引き上げ」とし、千葉県の審議会は「県の最低賃金を４２円引き上げ１０２６円に改正するのが適当」と答申しました。

今の時給が１０２６円未満のみなさん。１０月以降も１０２６円未満の時給のままであれば、会社による違法行為です。ただちに会社側に時給アップを求めましょう。

また千葉県の最低賃金はこの４年間で１０３円上がりました。それだけ時給が上がった人はほぼいませんよね。「ただちに４２円を超える時給アップ・賃上げを」と求めましょう。

駅ビル・ペリエ千葉の清掃業務を行う「ＪＲ東日本環境アクセス」のパート社員は、労働組合をつくり、会社と団体交渉を重ねたことにより、７月から時給が２０円上がりました。数年ぶりの時給アップです。労働組合をつくり、会社と交渉すれば、賃上げを実現することはできます。

私たち「千葉駅関連ユニオン」はみなさんとともに行動する労働組合です。ユニオンに入って一緒に声を上げましょう。連絡を心からお待ちしています。

初の「非正規春闘」どうなった

パートらユニオンに加入 一律10%の賃上げ要求

物価高や人手不足を背景に、30年ぶりの高い賃上げ率となった今年の春闘。労働組合がない会社のパートやアルバイトらが、個人加盟型の労働組合（ユニオン）に入って一律10%の賃上げを求める「非正規春闘」も初めて行われた。会社側とどう交渉し、どんな成果を得られたのか。舞台裏を取材した。（西尾邦明）

一人でスト 5千人6%アップ

靴小売り大手

「ウソでしょ」。靴小売り大手ABCマートの千葉県内の店舗で働くパート女性(47)は昨年12月、耳を疑った。物価高の中、時給が1月から下がるというのだ。会社が従業員の評価方法を見直したためだった。

女性の時給は基本給1千円と能力に応じた加算給30円の計1030円だったが、見直しで加算給が20円減った。まわりのパートも軒並み下がった。

「あり得ない」。社内に労働組合はなく、相談した労働基準監督署の担当者が教えてくれたのが「ユニオン」だった。一人でも入れる企業横断型の労働組合のことで、企業別の組合と同じように労使交渉できる。

その一つ、総合サポートユニオン（東京）に相談すると、青木耕太郎共同代表(33)から「賃下げ撤回だけでなく、10%の賃上げを求めてみませんか」と提案された。2月、同社の全てのパート・アルバイト（約5千人）について提案通りの要求をしたが、会社からは書面で拒否された。

ABCマートの店舗前で賃上げを求める総合サポートユニオンの組合員ら＝3月、東京都渋谷区、同ユニオン提供

3月9日、ユニオンはストライキを14日に行うことを会社側に通告し、本社前で抗議活動をした。するとその夜、会社側は女性の賃下げを撤回すると電話で伝えてきた。ただ、賃上げには応じなかった。

スト前日。会社側と初めての労使交渉が開かれた。女性は机の下で足を震わせながらも、言った。

「いくら売っても給料で認めてくれない。人として見てくれているんですか」

業績を考えても、時給アップはできるはずだ。2023年2月期は増収増益の見通しだった。それでも会社側は、「賃金はまわりの相場に比べ低いとは考えていない」と譲らなかった。

翌日、女性は一人でストを決行した。15分早帰りしただけだ。職場の仲間には迷惑をかけたくなかった。それでも、会社側へのプレッシャーになった。

3月30日の2回目の団体交渉で、会社側は5%賃上げをすると回答した。なぜあと5%できないのか。会社側は「今後、新店舗や設備の導入で、大型投資もあり得る」と主張した。

だが、投資は銀行からの借り入れもできるはずだ。「あと半分、まだ妥結はできない」。4月21日に2度目のストをすると予告し、その前日に3回目の団体交渉が開かれた。

そこで指摘したのが、創業家が同社の株の約6割を持ち、年間約80億円の配当を得ていたことだ。一方、パートら約5千人の人件費は組合側の推計で約40億円。女性らはこう訴えた。

「10%の賃上げは5億円でできる。労働者の生活を守るべきではないですか」

交渉開始から90分が過ぎ、相手の弁護士が休憩を取りたいと席を立った。戻ると、6%の賃上げでの妥結を提案した。

女性は「納得はいかないけれど、早く賃上げしないとみんなの生活も苦しい。業界トップ企業として来年も賃上げをしてほしい」と求め、提案を受け入れた。

ABCマートは取材に「人材採用の競争力を保つため、毎年適正、相当の賃金水準を踏まえて適時賃上げをしている」と答えた。

女性は言う。「自分の働く場所をよくしたい。当たり前のことをユニオンの仲間とやっただけです」